

新般若用水

原 繁雄 調

新般若用水は、現在では、木曽川の犬山頭首工を取水源とする宮田用水から江南市宮田町藤ノ森地内で分水している農業用水である。

尾張藩の成立と同時に始まった御囲堤の築造（1608～1609年）により、木曽川の支流が全て締め切られ、これら支流に依存していた当時の大面積の水田の水を確保する必要が生じた。

用水は、寛政三年（1791年）に葉栗郡宮田村（現江南市宮田町）に水門を設けた際に新たに築かれた。

用水路は、瀬部、時之島、浮野、北小淵、浅野地内を通過して、丹陽町平島で青木川に合流する。全長約9キロメートルである。